

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**アルファステイツ宇品御幸**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>			<b>3.4</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
1	暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00		
	設備騒音対策			-		-		
<b>1.2 遮音</b>			<b>5.0</b>	0.40	<b>4.1</b>	0.40		
1	開口部遮音性能	アルミサッシはT-2	5.0	1.00	5.0	0.30		
2	界壁遮音性能	D-50		-	4.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	フローリングLL-45以上とする		-	4.0	0.20		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20		
<b>1.3 吸音</b>			<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>			<b>2.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00		<b>2.9</b>
<b>2.1 室温制御</b>			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00		
1	室温設定		3.0	0.63	-	-		
	夏期・冬期の室温設定			-		-		
3	外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00		
4	ゾーン別制御性			-		-		
	夏期・冬期の室温制御			-		-		
	ゾーン別室温設定			-		-		
	夏期・冬期の室温設定			-		-		
	ゾーン別室温設定			-		-		
	夏期・冬期の室温設定			-		-		
<b>2.2 湿度制御</b>			<b>1.0</b>	0.20	-	-		
<b>2.3 空調方式</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-		
<b>3 光・視環境</b>			<b>2.3</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00		<b>3.8</b>
<b>3.1 昼光利用</b>			<b>1.8</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50		
1	昼光率	リビング6.2	1.0	0.60	5.0	0.50		
2	方位別開口			-		0.30		
3	昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
<b>3.2 グレア対策</b>			<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50		
	窓の遮光			-		-		
2	昼光制御	カーテンと庇	2.0	1.00	4.0	1.00		
<b>3.3 照度</b>			<b>3.0</b>	0.15	-	-		
1	照度		3.0	1.00	-	-		
	照度の確保			-		-		
<b>3.4 照明制御</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>			<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.6</b>
<b>4.1 発生源対策</b>			<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63		
1	化学汚染物質	天井裏も全てF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00		
	化学汚染物質			-		-		
	化学汚染物質			-		-		
	化学汚染物質			-		-		
<b>4.2 換気</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38		
1	換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2	自然換気性能			-	3.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
	換気設備			-		-		
<b>4.3 運用管理</b>				-		-		
1	CO <sub>2</sub> の監視			-		-		
2	喫煙の制御			-		-		
<b>Q2 サービス性能</b>			-	<b>0.30</b>	-	-		<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>			<b>1.8</b>	0.40	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.4</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>1.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.60		
1	広さ・収納性			-		-		
2	高度情報通信設備対応	各戸にインターネット		-	4.0	1.00		
3	バリアフリー計画		1.0	1.00		-		
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
1	広さ感・景観			-	3.0	0.50		
2	リフレッシュスペース			-		-		
3	内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50		
<b>1.3 維持管理</b>				-		-		
1	維持管理に配慮した設計			-		-		
2	維持管理用機能の確保			-		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.2</b>	0.31		-		<b>3.2</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>			<b>3.0</b>	0.48		-		
1	耐震性		3.0	0.80		-		
2	免震・制振性能		3.0	0.20		-		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.6</b>	0.33		-		
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼	5.0	0.23		-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09		-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:塩ビライニング鋼管、排水、通気管:硬質塩ビ管、Eは不使用	5.0	0.15		-		
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-		

2.3 信頼性			3.4	0.19	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			4.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	大便器は全て節水型器具を使用、配管系等の区分をしている		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	光ケーブル、地下への設置なし		4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1 階高のゆとり			-	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	宇品公園からの眺望に配慮、道路に面する空地の確保、緑地の配置		4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	潜熱回収型給湯器、LED照明採用		5.0	0.40	-	-	5.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水型水栓、節水コマ、節水型便器		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	長尺塩ビシート、ノンスリップシート、大便器		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1 消火剤	ハロン消火剤の使用なし		4.0	0.33	-	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	LCCO2=94%		3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	浸透舗装479㎡		4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェック項目の過半を満たす、広告物は無し		5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	